

磨き合う緑陽

～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

日曜	日課 部活 下校	学 年	1日の流れ(生徒の活動)							校内関係 各種行事	備考
			校 時								
			1	2	3	4	5	6	放課後		
22 月	50 × 15:10 16:00	1							／	放) 第1回教科係会 部活動申込〆切	ふれあい 13:10～13:30 ⑤時 13:35～14:25 帰りの会 14:35～14:55 最終下校(係会なし) 15:10 教科係会 15:10～15:45 最終下校(教科係) 16:00
		2							／		教科係会
		3							／		教科係会
23 火 ☆	50 × 16:30 17:00	1							総	放) 生徒総会リハ 内科検診13:30	⑥時 14:35～15:25 清掃 15:35～15:45 帰りの会 15:55～16:15 最終下校 16:30 生徒総会リハ 16:25～16:45 最終下校(生徒会) 17:00
		2							総		
		3							総		
24 水	特45 × 16:45	1							生	④前期生徒総会(体育祭説明含) ⑤→帰りの会→⑥	ふれあい 12:50～13:10 ⑤時 13:15～14:00 帰りの会 14:10～14:30 ⑥総会 14:45～15:50 体育祭説明 15:55～16:25 最終下校 16:45
		2							生		
		3							生		
25 木 ☆	特45 × 14:15	1							／	第1回授業参観・PTA総会	清掃 11:30～11:40 帰りの会 11:50～12:10 給食 12:10～12:45 片付け 12:45～13:00 ⑤時 13:10～14:00 最終下校 14:15
		2							／		
		3							／		
26 金 ☆	50 ○ 16:30 17:00	1				道				④縦割り小集団交流開始 放) 部活動ミーティング	⑥時 14:35～15:25 清掃 15:35～15:45 帰りの会 15:55～16:15 最終下校(部活なし) 16:30 部活動ミーティング 16:25～16:45 最終下校(部活あり) 17:00
		2				道					
		3				道					
27 土		1									
28 日		1									
29 月		1									
		2									
		3									
30 火	50 × 16:10	1							総		給食 12:35～13:10 ふれあい 13:10～13:30 ⑤時 13:35～14:25 ⑥時 14:35～15:25 帰りの会 15:35～15:55 最終下校 16:10
		2							総		
		3							総		

「班」の意義

「意味」と「意義」は言葉は似ていますが、違います。「意味」は言葉や行為の内容そのものを表すのに対して、「意義」は言葉や行為がもつ価値や重要性のことなのです。だから、「班の意味」と言われると「組み分けされたグループ」なのです。では、タイトルにある「班の意義」は何でしょうか? 「意義」と関わらせて考えると、「グループを作って活動する価値や重要性」が「班の意義」ということとなります。

人は、3人いれば社会が形成される、と言います。このことから考えると、「班」とは小さいとはいえ社会といえるのです。だから、班で活動することを通して「社会性」を身に付けることになるかと先生は考えています。すなわち、班活動を通して「コミュニケーションをとること」「協力したり、支え合ったりすること」「同じ規律の中で行動すること」「相手の思いに共感すること」などを身に付けることができるのです。

学校では、環境班、学習班など〇〇班として活動します。これはその班に環境委員や学習委員がいるからです。しかし、班には「社会科係」や「学級書記」など教科係や諸係もいます。そう考えると、「社会科班」であり、「書記班」とも言えるのです。このことから先生が最も伝えたいのは、一人一人に役があり、それを支える班がある、ということです。班で活動する中で、コミュニケーションをとり、自分の一役に協力してもらい、仲間の一役を支えたりすることで、班が成長していくのです。すべての班が成長した時、学級はとても大きな成長になるでしょう。そんな「班の意義」を大切にしてください。

梅村亮介のどうでもいい話～「『どうでもいい話』週日課」になってませんか?(笑)～

全校生徒にロイロノートで週報配信の有無についてアンケート項目にあった自由記述欄を見ると、ほぼ「どうでもいい話を楽しみにしています」と書いてあって、「やっぱりな(笑)」とちょっと思った梅村です。昨年度に書いて実現できなかった「どうでもいい話を本にしてください」というものもありました(笑)中には、「親が楽しみにしています!」というありがたい言葉もあったことがめっちゃうれしいです!

今年度、どうでもいい話を冊子にしてみようと試みたわけですが、過去にさかのぼっていったら一部データがない! しかも、最初の年を9月くらいまでコピーしてみたら、それだけで8000文字近い!!! (それでも読みたい?) まだ半年も過ぎていないのに!!! というのも、過去には(3年生のみならずは知っていると思うけど)週報を裏面で印刷して配付していました。だから、どうでもいい話を書くスペースがたくさんあったのです! 今は、限られたこの枠の中に書かなければいけないので少なめです。このデータを数年分まとめようとすると時間がかかるなあ・・・、というわけで空いている時間に少しずつ進めていきたいと思います。にしても、どうでもいい話の第一号ってどこにいつしまったんやろ・・・。